

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部学科設置

信州大学 工学部 土木工学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成22年5月1日現在

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	既設大学等の状況	8
4	教員組織の状況	10
5	その他全般的事項	11

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〒380-8553
長野県長野市若里四丁目17番1号
(〒390-8621長野県松本市旭三丁目1番1号)

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 土木工学科 学士(工学)	年 4	人 45	3年次 人 2	人 184	

(注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平均入学定員 超過率	備考
A 入学定員	()	(-) 45	(-) 45	(2) 45	1.04倍	
志願者数	()	(-) 167	(-) 168	(7) 100		
受験者数	()	(-) 134	(-) 142	(7) 93		
合格者数	()	(-) 52	(-) 53	(4) 49		
B 入学者数	()	(-) 47	(-) 49	(4) 46		
入学定員超過率 B/A	()	(-) 1.04	(-) 1.08	(2.00) 1.02		

- (注)・()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学年	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考
1年次	[]	[1] 47	[-] 49	[-] 47	
2年次	[]	[-] 0	[1] 46	[-] 48	
3年次	[]	[-] 0	[-] 0	[2] 50	
4年次	[]	[-] 0	[-] 0	[-] 0	
計	[]	[1] 47	[1] 95	[2] 145	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[] %
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0]	計 [1]	[0%] 2.1 %
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 47人	
	(主な退学理由) 進路変更(他大学受験)(1人)		
平成21年度	計 [0]	計 [1]	[0 %] 0 %
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 47人	
	うち平成21年度入学者 0人	うち平成21年度 49人	
	(主な退学理由)		
平成22年度	計 [0]	計 [2]	[0 %] 0 %
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 0人	
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 47人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 49人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 50人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 土木工学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)											
	環境の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(B. 精神と文化)											
	思想と表現	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	言語と文化の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(C. 世界と地域)											
	国際社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	日本社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	歴史と現代社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(D. 生命と物質)											
	人間の生と行動	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	動物と植物	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	物質の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	地球と宇宙	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(E. 知の継承と発展)											
人文・社会科学の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
数理の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
学際と先端の科学・技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
基礎科目	外国語	英語	1前後	4								
		英語	2前後	4								
	学健康科目	キャンパスライフと健康	1前	1								
	情報科目	情報科目	1前後		2							
	ナ1ル生ゼミ	新入生ゼミナル	1前	2			3 2	4 5		2		
	基礎科学科目	微分積分学	1前後	4								
		線形代数学	1後	2								
		線形代数学	2前	2								
		物理学(力学)	1前	2								
		物理学(電磁気学)	2前	2								
		物理学実験	1後	2								
		化学	1前	2								
		化学実験	1前後	2								
生物学		1前後	4									
生物学実験		1後	2									
地学概論	1後	4										
地学実験	1前後	2										

平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)
 教員が昇進したため(22)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本語	1前後・2前後・3前後・4前後		6									
	日本語事情	1前後・2前後・3前後・4前後		12									
専門科目	応用数学	2前		2									
	応用数学	2後		2									
	応用数学	3前		2									
	確率・統計	2後		2									
	解析力学	2前		2									
	基礎物理学	2前	2			1							
	基礎数学	2前	2				1						
								1					
									2				
	地域の分析と計画	2前	2				4					教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21) 講義と演習の分担を変更したため(22)	
									1				
										2			
	地域の分析と計画演習	2前	1								4		平成20年度に教員が昇進したため(21) 講義と演習の分担を変更したため(22)
											1		
	構造力学	2前	2				4						平成20年度から教員が未昇進のため(21)
	構造力学	2後		2					1				
						2			1				
	構造力学 演習	2前	1								4		教員が昇進したため(21)
								1					
	基礎水理学	2前	2							4			教員が昇進したため(22)
											1		
	応用水理学	2後		2						1			教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)
	基礎水理学演習	2前	1								1		
											1		
	土の力学	2前	2				4						平成20年度から教員が未昇進のため(21)
											1		
	地盤の力学	2後		2						4			教育課程の充実を図るため平成20年度から教員を変更したため(21)
	土の力学演習	2前	1								1		
	社会資本計画学	2後		2				1					
	卒業研究	4通年	10					5	5		3		
								2	6		0		
	社会環境工学	1後	2					5	5		3		平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)
							1	3					
土質・水環境実験	3前		1				2	2		1		授業計画の改善による変更のため(22)	
コンクリート・構造実験	3前		1				1			1			
									1				
建設構造物設計製図	3後	1					1			4		教員が昇進したため(22)	
建設構造物設計製図	4前	1					1						
構造設計学	3前		2				1						
地震工学	3後		2				1						
橋梁工学	3後		2				1						
河川工学	3前		2						1				
上下水道工学	3前		2						1				
地水環境工学	2後	2					1						
地盤工学	3後		2						1				
									1				
都市・地域環境計画	2後	2					4					平成20年度から教員が未昇進のため(21)	
									2		1		
空間情報学	2後	2					4	4				平成20年度から教員が未昇進および授業計画の改善による変更のため(21)	
景観分析論	3前		2						1				
交通計画	3後		2						1				
							1						
交通システム論	3前		2						4			教員が昇進したため(22)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	単位	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	建設マネジメント	4前		2		1	2					
	コンクリート工学	3前		2		1						
	コンクリート工学	3後		2		1						
	環境生態工学	4前		2			1					
	地圏環境学	3後		2			1					教員が昇進したため(22)
	数値計算法	3後		2				1				
		3前										
	地水環境工学	3後		2		1						カリキュラム時間割見直しのため、変更(22)
	環境保全工学	2後	2				1			1		
	海岸・湖沼工学	3後		2				4				授業計画の改善による変更のため(22)
	防災システム論	4前		2		2	1					
	特別演習	3後		1			4	2		3		授業計画の改善による変更のため(22)
	特別演習	3後		1			4	2		3		授業計画の改善による変更のため(22)
	総合演習	3前	1			1	2			3		授業計画の改善による変更のため(22)
	空間情報実習	3前		1			4	4		1		授業計画の改善による変更のため(22)
	地域計画	3後		2								
	応用統計学	3前・4前		2								教員の退職により科目を廃止したため(21)
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後・4前後		1								
	特許実務概論	3前・4前		2								
	経営工学第1	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学第2	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	現代技術論	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	労働安全	2集中・3集中・4集中		2								教員の不在により科目を廃止したため(22)
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中・4集中		2								
	地域環境演習	2前・3前・4前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	環境内部監査実務	2前・3前・4前		2								
	学外特別実習	2通年・3通年・4通年		2								
	ボランティア特別実習第1	2通年・3通年・4通年		1								
	ボランティア特別実習第2	2通年・3通年・4通年		1								
	学外特別講義第1	2通年・3通年・4通年		2								
	学外特別講義第2	2通年・3通年・4通年		2								
	学外特別講義第3	2通年・3通年・4通年		2								
環境政策概論	3前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(22)	

(注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
27	74	0	101	[]	[]	[]	[]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置無し
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
4	労働安全	2	2集中・3集中・4集中	専門	選択	担当可能な教員が不在のため。代替措置無し。

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・応用統計学 高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり, 廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。 ・経営工学第1及び経営工学第2 経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており, 廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。 ・労働安全 充分な数の選択科目が開設されており, 廃止による履修への大きな影響は無い。履修案内への記載により周知する。
--

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.03}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年 次 人	人		倍				
医学部						0.99	昭和24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
医学科	6	113		618	学士(医学)	0.99	昭和26年度			
保健学科	4	143	3 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	0.99	平成14年度			
人文学部						1.08	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
人間情報学科	4	80	3 5	330	学士(文学)	1.06	平成7年度			
文化コミュニケーション学科	4	75	3 5	310	"	1.10	"			
教育学部						1.04	昭和24年度	長野県長野市大字西長野6の口		
学校教育教員養成課程	4	210		840	学士(教育学)	1.03	平成11年度			
特別支援学校教員養成課程	4	20		80	"	1.02	"			
生涯スポーツ課程	4	30		120	"	1.04	"			
教育カウンセリング課程	4	20		80	"	1.11	"			
経済学部						1.13	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
経済学科	4	125	3 20	540	学士(経済学)	1.12	"			
経済システム法学科	4	60	3 10	260	"	1.15	平成7年度			
理学部						1.03	昭和41年度	長野県松本市旭3丁目1番1号		
数理・自然情報科学科	4	55		220	学士(理学)	1.03	平成7年度			
物理科学科	4	35		140	"	1.02	"			
化学科	4	35		140	"	1.08	"			
地質科学科	4	30		120	"	1.03	"			
生物科学科	4	30		120	"	1.04	"			
物質循環学科	4	25		100	"	1.04	"			
各学科共通			3 10	20		0.75				
工学部						1.06	昭和24年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成20年度から学生募集停止	
機械システム工学科	4	80	3 3	323	学士(工学)	1.05	平成10年度			
電気電子工学科	4	95	3 3	383	"	1.05	平成元年度			
社会開発工学科	4	-		-	"	-	"			
土木工学科	4	45	3 2	137	"	1.06	平成20年度			
建築学科	4	50	2 2	152	"	1.07	"			
物質工学科	4	60	3 3	243	"	1.05	平成10年度			
情報工学科	4	90	3 5	365	"	1.05	平成元年度			
環境機能工学科	4	50	3 2	202	"	1.08	平成10年度			
各学科共通				20		1.20				

大学の名称	信州大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
農学部						1.03	昭和24年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
食料生産科学科	4	62		248	学士(農学)	1.04	平成9年度		
森林科学科	4	61		244	"	1.05	"		
応用生命科学科	4	52		208	"	1.03	"		
各学科共通			310	20		0.92			
繊維学部						1.07	昭和24年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	
応用生物科学科	4	-		-	学士(農学)	-	昭和60年度	平成20年度から学生募集停止	
繊維システム工学科	4	-		-	学士(工学)	-	平成7年度		"
素材開発科学科	4	-		-	"	-	昭和63年度		"
機能機械学科	4	-		-	"	-	昭和61年度		"
精密素材工学科	4	-		-	"	-	昭和62年度		"
機能高分子学科	4	-		-	"	-	昭和53年度		"
感性工学科	4	-		-	"	-	平成7年度		"
先進繊維工学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.08	平成20年度		〔創造工学系〕
機能機械学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.13	"		
感性工学課程	4	30	31	91	学士(工学)	1.15	"		
応用化学課程	4	37	31	112	学士(工学)	1.06	"		
材料化学工学課程	4	37	31	112	学士(工学)		"		
機能高分子学課程	4	36	32	110	学士(工学)	"	"		
バイオエンジニアリング課程	4	25	31	76	学士(工学)	1.05	"		
生物機能科学課程	4	25	31	76	学士(工学)		"		
生物資源・環境科学課程	4	25	31	76	学士(農学)		"		
各学科共通				-		-			

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者が、既に設置している大学の学部、学部の学科について平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
- (大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成 年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 土木工学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	0	3	13	0	5	7	0	3	15	0	
(3)	(8)	(0)	(5)	(16)	(0)	[0]	[+2]	[0]	[0]	[+2]	[0]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合： 1)

5 その他全般的事項

<工学部 土木工学科>

情報提供に関する事項

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年5月下旬)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/plan/setup/>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(大学) 」としてください。

事前伺い

[平成20年度設置]

計画の区分：学部学科設置

信州大学 工学部 建築学科

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学
平成22年5月1日現在

(4) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・様式は, 平成19年度開設の4年制の学科の場合(平成22年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 建築学科 学士(工学)	年 4	人 50	3年次 人 2	人 204	

(注)・定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度				平均入学定員超過率	備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度		
A 入学定員	()人	(-)人 50	(-)人 50	(2)人 50	1.06倍	
志願者数	()	(-)265	(-)167	(4)263		
受験者数	()	(-)204	(-)138	(4)218		
合格者数	()	(-)58	(-)62	(3)60		
B 入学者数	()	(-)53	(-)55	(3)52		
入学定員超過率 B/A	()	(-)1.06	(-)1.10	(1.50)1.04		

- (注)・()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については, 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入し, 平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・「平成22年度」には, 平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・「平成19~21年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度				備考
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
1年次	[]	[1]53	[2]55	[0]52	
2年次	[]	[-]0	[1]53	[2]54	
3年次	[]	[-]0	[-]0	[1]55	
4年次	[]	[-]0	[-]0	[-]0	
計	[]	[1]53	[3]108	[3]161	

- (注)・[]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(4) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 []	計 []	[%]
	うち平成19年度入学者 人	うち平成19年度 人	%
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0]	計 [1]	[0 %]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	0 %
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 53人	
	(主な退学理由)		
平成21年度	計 [0]	計 [3]	[0 %]
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 0人	1.9 %
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 53人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 55人	
	(主な退学理由) 就学意欲の低下(1人), 学生個人の心身に関する事情(1人)		
平成22年度	計 [0]	計 [3]	[0 %]
	うち平成19年度入学者 0人	平成19年度 0人	0 %
	うち平成20年度入学者 0人	平成20年度 53人	
	うち平成21年度入学者 0人	平成21年度 55人	
	うち平成22年度入学者 0人	平成22年度 55人	
(主な退学理由)			

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 建築学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	(A. 環境と人間)											
	環境の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	環境と技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(B. 精神と文化)											
	思想と表現	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	言語と文化の諸相	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(C. 世界と地域)											
	国際社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	日本社会の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	歴史と現代社会	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	(D. 生命と物質)											
	人間の生と行動	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	動物と植物	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	物質の構造と動態	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
	地球と宇宙	1前後・2前後・3前後・4前後		2								
(E. 知の継承と発展)												
人文・社会科学の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
数理の世界	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
学際と先端の科学・技術	1前後・2前後・3前後・4前後		2									
基礎科目	外国語	英語	1前後	4								
		英語	2前後	4								
	学健康科目	キャンパスライフと健康	1前	1								
	情報科目	情報科目	1前後		2							
	ミナ新生ゼミ	新生ゼミナール	1前	2			4 5	5	1	3		平成20年度から教員が未補充のため(21)
	基礎科学科目	微分積分学	1前後	4								
		線形代数学	1後	2								
		線形代数学	2前	2								
		物理学(力学)	1前	2								
		物理学(電磁気学)	2前		2							
		物理学実験	1後		2							
		化学	1前		2							
		化学実験	1前後		2							
生物学		1前後		4								
生物学実験		1後		2								
地学概論	1後		4									
地学実験	1前後		2									

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	日本語	1前後・2前後・3前後・4前後	6									
	日本語事情	1前後・2前後・3前後・4前後	12									
専門科目	応用数学	2前	2									
	確率・統計	2後	2									
	応用数学	2後	2									
	応用数学	3前	2									
	解析力学	2前	2									
	建築構造力学第1	2前	2			1						
	建築構造力学第2	2後	2					1				
	建築構造力学第1演習	2前	1			1	4					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)
	建築構造力学第2演習	2後	1			4	1					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(21)
	建築材料							2				
	建築材料力学	2後	2			1						教育課程の充実を図るため教員及び教育内容を変更したため(22)
	鉄筋コンクリート構造	3前	2				4	1				教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)
	鋼構造	3前	2				1					
	建築地盤工学	3後	2		2			1				
	建築環境工学第1	2前	2				1					
	建築環境工学第2	2後	2					4				平成20年度に教員が昇進したため(21)
		3前										
	建築設備第1	2後	2				1					教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため(21)
	建築設備第2	3後	2				1					
	建築設備基礎	2後								1		
	音響設計	3前	2				4					教育課程の充実を図るため配当年次を変更したため(21)。退職により教員を変更したため(21)
											1	教員の変更に伴い教育内容を変更したため(22)
	都市環境工学	3前	2				4					教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)
	建築計画第1	2前	2					1		4		
	建築史第1	2前	2								4	平成20年度から教員が未昇進のため(21)
	建築保存再生論	3前	2				1					教員が昇進したため(22)
								2				
								4		4		
建築設計製図第1	2前	2				4	2		4		平成20年度から教員が未補充のため(21)	
										2	教員が昇進したため(22)	
建築設計製図第2	2後	2				1	2		4		平成20年度から教員が未補充のため(21)	
						1						
建築設計製図第3	3前	2				2	4		1		平成20年度から教員が未補充のため(22)	
						1						
建築設計製図第4	3後	2				2	4		1		平成20年度から教員が未補充のため(22)	
卒業研究	4通年	10				5	5		3			
						3	3	1	1			
						4	4	2	2			
都市と建築	1後	2				5	5		3		平成20年度から教員が未補充のため(21)	
											教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)	
木質構造	2後	2					1					
建築構造材料実験	3後	1				1	2		4		教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)	
防災工学	3後	2					1					
建築構造設計	3後	2				1						
振動学	3前	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	建築環境工学演習	3後 2後		1		1						教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)
	建築設備演習	3後 2後		1		1						教育課程の充実を図るため配当年次及び教員を変更したため(21)
	都市・地域環境計測	3後		2				4				平成20年度に教員が昇進したため(22)
	都市環境工学演習	3前		1		4				1		教育課程の充実を図るため教員を変更したため(22)
	基礎環境工学					1						
	建築情報工学	2前		2			4					平成20年度に教員が昇進したため(21)
	建築環境工学実験	3前		1		2	4				1	教育課程の充実を図るため教育内容を変更したため(22)
	建築デザイン論	2後		2		1		4				平成20年度に教員が昇進したため(22)
	建築計画第2	3前		2		1		1				教員が昇進したため(21)
	建築史第2	2後		2					4			平成20年度から教員が未昇進のため(21)
	地域計画	3後		2				4				教員が昇進したため(22)
	建築設計製図第5	4前		2		2	1				1	平成20年度から教員が未昇進のため(22)
	建築法規	3前・4前		2				4				平成20年度から教員が未補充のため(22)
	建築施工学	3前・4前		2			1					
	地圏環境学	3後		2								
	地水環境工学	4後		2								
	応用統計学	3前・4前		2								教員の退職により科目を廃止したため(21)
	量子物理	2前・3前・4前		2								
	物理学実験	2前後・3前後 ・4前後		1								
	経営工学第1	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学第2	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を廃止したため(21)
	経営工学	4前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	現代技術論	4後		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	特許実務概論	3前・4前		2								
	労働安全	2集中・3集中 ・4集中		2								教員の不在により科目を廃止したため(22)
	環境マネジメントシステム	2集中・3集中 ・4集中		2								
	地域環境演習	2前・3前 ・4前		1								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(21)
	環境内部監査実務	2前・3前 ・4前		2								
	学外特別実習	2通年・3通年 ・4通年		1								
	ボランティア特別実習1	2通年・3通年 ・4通年		1								
	ボランティア特別実習2	2通年・3通年 ・4通年		1								
	学外特別講義第1	2通年・3通年 ・4通年		2								
	学外特別講義第2	2通年・3通年 ・4通年		2								
	学外特別講義第3	2通年・3通年 ・4通年		2								
	環境政策概論	3前		2								教育課程の充実を図るため科目を追加したため(22)

(注)・事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき, 設置時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
33	64	0	97	33	64	0	97	
				[]	[]	[]	[]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	建築施工学	2	3前・4前	専門	選択	隔年開講科目。平成23年度開講。
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。
 なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	応用統計学	2	3前・4前	専門	選択	担当教員の退職のため。代替措置なし
2	経営工学第1	2	4前	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
3	経営工学第2	2	4後	専門	選択	教育課程の充実を図るため。これに替わる科目を新設。
4	労働安全	2	^{2集中・3集中・4集中}	専門	選択	担当可能な教員が不在のため。代替措置無し。

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・応用統計学 高年次生を対象とする発展的な内容の選択科目であり, 廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。 ・経営工学第1及び経営工学第2 経営工学第1・第2の内容を統合した「経営工学」を新設しており, 廃止による履修への影響はないものとする。時間割等により周知する。 ・建築施工学 隔年で開講し, 3年生・4年生が合同で受講する。平成23年度開講。履修案内への記載により周知する。 ・労働安全 十分な数の選択科目が開設されており, 廃止による履修への大きな影響は無い。履修案内への記載により周知する。
--

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{} \quad 0.05$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

4 教員組織の状況

<工学部 建築学科>

専任教員数

設置時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	0	3	13	0	5	3	1	2	11	0	
(4)	(3)	(2)	(2)	(11)	(0)	[0]	[2]	[+1]	[1]	[2]	[0]	

(注)・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合： 1)